

# デリバティブ取引

## ■デリバティブ取引関係 (第148期中 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで))

### 1.ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの中間決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

#### (1)金利関連取引 (単位：百万円)

区分	種類	平成23年9月期 (平成23年9月30日現在)			
		契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価	評価損益
店頭	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	1,300	1,300	30	30
	受取変動・支払固定	1,300	1,300	△23	△23
	合計	2,600	2,600	7	7

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。  
2.時価の算定  
取引所取引につきましては、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引につきましては、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

#### (2)通貨関連取引 (単位：百万円)

区分	種類	平成23年9月期 (平成23年9月30日現在)			
		契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	4,449	—	0	0
	為替予約				
	売建	3,968	—	11	11
	買建	108	—	△1	△1
	合計	—	—	11	11

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。  
2.時価の算定  
割引現在価値等により算定しております。

#### (3)株式関連取引 (平成23年9月30日現在)

該当ありません。

#### (4)債券関連取引 (平成23年9月30日現在)

該当ありません。

#### (5)商品関連取引 (平成23年9月30日現在)

該当ありません。

#### (6)クレジットデリバティブ取引 (平成23年9月30日現在)

該当ありません。

### 2.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の中間決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

#### (1)金利関連取引 (単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成23年9月期 (平成23年9月30日現在)		
			契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	—	—	—	—
	受取変動・支払固定	—	—	—	—
金利スワップの特例処理	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	預金	582	582	4
	受取変動・支払固定	貸出金	37,023	37,023	△1,194
	合計	—	37,605	37,605	△1,189

(注) 1.主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号)に基づき、繰延ヘッジによっております。  
2.時価の算定  
取引所取引につきましては、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引につきましては、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

#### (2)通貨関連取引 (単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成23年9月期 (平成23年9月30日現在)		
			契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価
原則的処理方法	為替予約	外貨建の貸出金、有価証券、預金、外国為替等	118	—	1
			合計	—	—

(注) 1.主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号)に基づき、繰延ヘッジによっております。  
2.時価の算定  
割引現在価値等により算定しております。

#### (3)株式関連取引 (平成23年9月30日現在)

該当ありません。

#### (4)債券関連取引 (平成23年9月30日現在)

該当ありません。

## ■デリバティブ取引関係 (第147期中 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで))

### 1.ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの中間決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

#### (1)金利関連取引 (単位：百万円)

区分	種類	平成22年9月期 (平成22年9月30日現在)			
		契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価	評価損益
店頭	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	2,400	1,800	52	52
	受取変動・支払固定	2,400	1,800	△38	△38
	合計	4,800	3,600	13	13

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。  
2.時価の算定  
取引所取引につきましては、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引につきましては、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

#### (2)通貨関連取引 (単位：百万円)

区分	種類	平成22年9月期 (平成22年9月30日現在)			
		契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	14,929	4,616	3	3
	為替予約				
	売建	139	—	4	4
	買建	134	—	△3	△3
	合計	—	—	5	5

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。  
2.時価の算定  
割引現在価値等により算定しております。

#### (3)株式関連取引 (平成22年9月30日現在)

該当ありません。

#### (4)債券関連取引 (平成22年9月30日現在)

該当ありません。

#### (5)商品関連取引 (平成22年9月30日現在)

該当ありません。

#### (6)クレジットデリバティブ取引 (平成22年9月30日現在)

該当ありません。

### 2.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の中間決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

#### (1)金利関連取引 (単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成22年9月期 (平成22年9月30日現在)		
			契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	—	—	—	—
	受取変動・支払固定	—	—	—	—
金利スワップの特例処理	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	預金	1,349	1,349	10
	受取変動・支払固定	貸出金	27,773	27,773	△996
	合計	—	29,122	29,122	△985

(注) 1.主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号)に基づき、繰延ヘッジによっております。  
2.時価の算定  
取引所取引につきましては、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引につきましては、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

#### (2)通貨関連取引 (単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成22年9月期 (平成22年9月30日現在)		
			契約額等	期満時のうち1年以内のもの	時価
原則的処理方法	為替予約	外貨建の貸出金、有価証券、預金、外国為替等	118	—	1
			合計	—	—

(注) 1.主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号)に基づき、繰延ヘッジによっております。  
2.時価の算定  
割引現在価値等により算定しております。

#### (3)株式関連取引 (平成22年9月30日現在)

該当ありません。

#### (4)債券関連取引 (平成22年9月30日現在)

該当ありません。